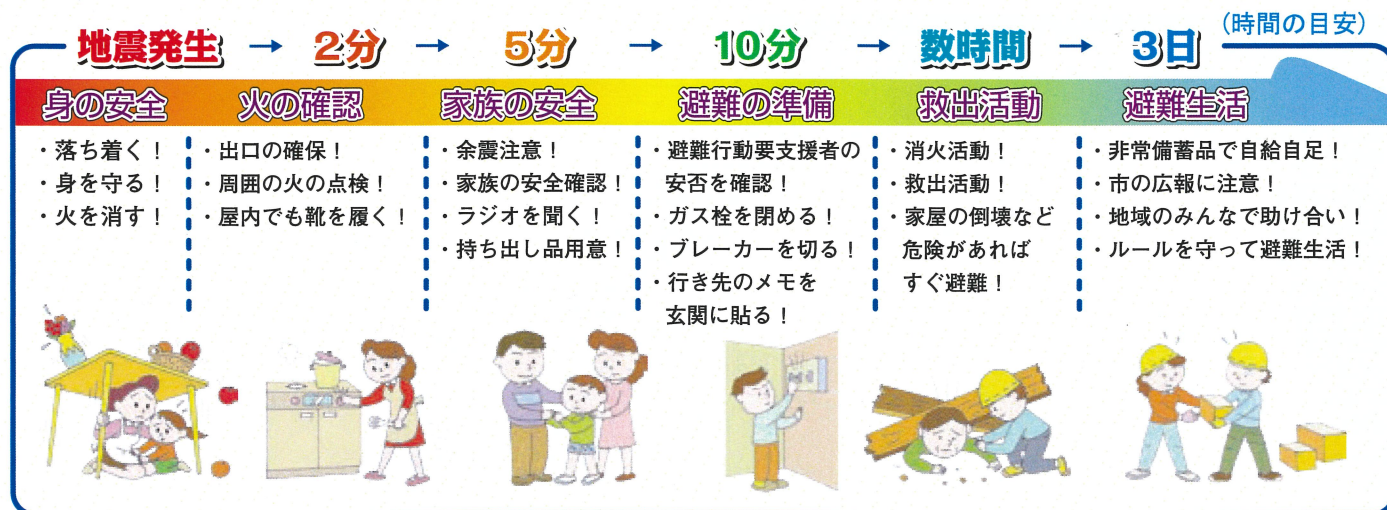


2-13. 地震発生時の行動

地震発生時は、あわてず、落ち着いて、身の回りの安全を確認しましょう。

(時間の目安)



2-14. 地震による火災を防ぐために

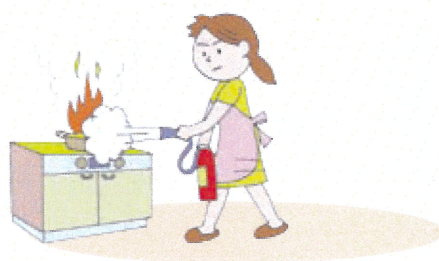
火災が発生した場合は消火器などを使い、初期消火に努めましょう。

まず、周囲に **早く知らせ**、

小さい火事のうちに **早く消し**、

天井まで火が燃え広がったら **早く逃げましょう**。

防災訓練などでは、消火器の使い方を練習しておきましょう。



◆消火器がない場合の火元別初期消火方法

油なべ

水をかけてはいけません。シーツや大きめのタオルをぬらして、火の手前からなべ全体にかぶせ、空気を遮断します。



石油ストーブ

濡れたシーツを上から覆うようにかぶせ、大きなバケツ1杯分くらいの水を勢いよく一気にかける。



衣類

転げまわって火を消します。髪の毛の場合は、頭からタオルなどの布をかぶります。



電気製品

感電しないように、電気コードをコンセントから抜いてから水で消火します。



カーテン・ふすま

天井に火が燃え広がる前に、水で消します。また、カーテンは引きちぎり、ふすまは倒して消火します。



風呂場

ガスの元栓を閉め、火の勢いが強くないように扉を徐々に開けて水で消火します。



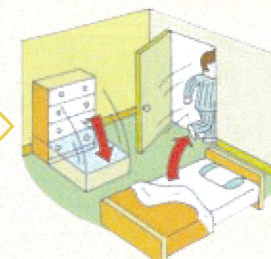
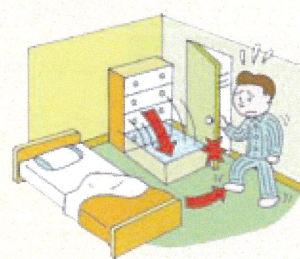
◆地震保険について

地震保険は地震や噴火、津波を原因とする火災、損壊、埋没または流失による居住用の建物や家財の損害を補償する地震災害専用の保険です。火災保険に付帯する方式での契約となり、火災保険への加入が前提となります。詳しくは、損保ADRセンター(0570-022808)にご相談ください。

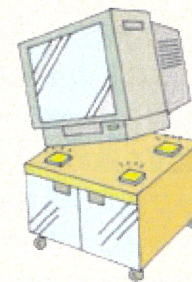
2-15. 地震による被害を防ぐポイント

◆家の中の安全確認

- ・住宅の耐震改修(市で助成制度がありますので、守山市建築課へお問い合わせ下さい。)
- ・戸建住宅などの場合はできるだけ2階で寝るようにしましょう。
- ・家具には、転倒防止金具を取り付けましょう。
- ・部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。
- ・テレビや置物などには、すべり止めを取り付けましょう。
- ・食器棚、本棚などは、とめ金具を取り付けましょう。



すべり止め



すべり止め

L型金具

とめ金具

とめ金具

◆家の周囲の安全確認

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼りましょう！

屋根

不安定な屋根のアンテナや屋根瓦は補強しておきましょう！

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を！

ブロック塀

ブロック塀はしっかり点検補強しておきましょう！

プロパンガス

ボンベをしっかり鎖で固定しておきましょう！

◆ブロック塀の安全対策 ～安全なブロック塀の目安～

- 鉄筋・・・縦筋と横筋が固定されて入っているか
- 基礎・・・しっかりしているか
- 控え壁・・・支えの控え壁は設置されているか
- 高さ・・・高すぎないか
- 破損・・・傾きやひび割れ、破損箇所はないか
- 透かし・・・透かしブロック

⑥ 透かしブロック
多いと塀の強度が低下。連続した配置は禁物。

⑤ 破損

補修を行って下さい。

④ 高さ

高さは2.2mを超えないようにします。

③ 控え壁

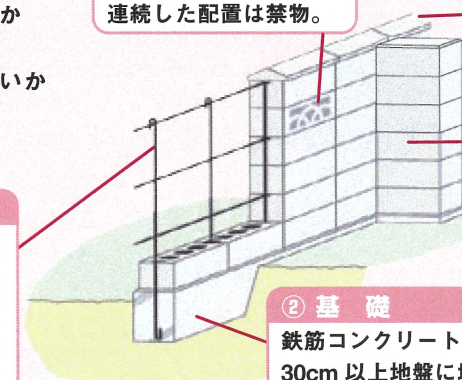
高さ1.2mを超える(6段積み以上)塀は長さ3.4m以下の間隔で控え壁を設置。また、控え壁にも鉄筋を入れ、塀とつながります。

② 基礎

鉄筋コンクリートで造り、30cm以上地盤に埋め込みます。

① 鉄筋

直径9mm以上の鉄筋を縦・横方向に80cm以下の間隔で入れます。特に縦筋は基礎から壁頂まで1本ものとし、壁頂および基礎には必ず横筋を入れ、縦筋をフック掛けします。



※鉄筋で補強されていないブロック塀は、高さ1.2mを超えて築造できません。塀の厚さは10cm以上必要です。(塀の高さが2mを超え2.2m以下の場合は15cm以上必要です。)